

# '07 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL

'07 7/29 SUN



本田雅人スペシャルカルテット

Berkeley Highschool Jazz Ensemble



Kenji Yoshida (Tp)

Chiaki Ogasawara

Daien Matsui



Count Herd Jazz Orchestra



# Message to



倉敷サマージャズフェスティバルが帰ってくる  
毎年夏になると、全国各地でサマージャズフェスティバルなるものが開催される。最近はその不況によりスポンサーが撤退するケースもあるようで、その数は減少しているとのことだが、それでも大小さまざまなフェスティバルが目白押しなのは周知のとおりで、ここでそれらの名前を挙げる必要はないだろう。

今年で16回目を迎える、倉敷サマージャズフェスティバル(KSJF)。大企業のスポンサーに頼ることなく、有志による倉敷サマージャズ実行委員会を中心に、趣旨に賛同する地元の企業や商店、そしてメインバンドとなるカウントハードという、倉敷をこよなく愛する人々によって着実に積み重ねてきた16年である。

継続は力なりという言葉もあるが、KSJFは単に回を重ねただけではない。また、地方のジャズフェスと侮ることなかれ。毎回国内外の名だたるアーティストを迎え、非常に質の高いステージを繰り広げてきた。これはひとえに彼らにとっても、KURASHIKIでの演奏が心地よいかからなのだ。言い換えれば、松井さんとカウントハードの魅力ゆえであろう。観客も、毎年このフェスティバルを楽しみにしている方が多いという。そうKSJFは一時のファッションではけしてないのである。しかし、このフェスティバルは残念なことに昨年は開催されなかった。いや、急遽中止されたのだった。

2006年夏、8年ぶりに日本の地を踏み、カウントハードとの共演を楽しみにしていたトランペッター、メイナード・ファーガソンの突然の逝去が報じられた。日本の多くのファンが悲しみに打ちひしがれる中、このサマージャズフェスティバルも中止となった。今年、その悲しみを乗り越え再度開催されることになったのは非常に嬉しいニュースだ。開催を告げるフライヤーにはしっかりと「Maynard Ferguson追悼」の文字がある。メイナード・ファーガソンはこの世からいなくなってしまったが、彼の音楽は残った。そして、彼を敬愛してやまないカウントハードの活動も続く。

カウントハードといえ、やはり松井さんのハイノートがトレードマークだ。若い頃からメイナード・ファーガソンに憧れ、そのスタイルを模索しつつ今のカウントハードを築いてこられた。今でこそアマチュアバンドでファーガソンのナンバーを演奏するバンドは多くなかった。技術も指導方法も楽器も進歩したのだろうが、松井さんとカウントハードの果たした役割は大きい。かつてメイナード・ファーガソンに憧れた少年がやがて自己のビッグバンドを率い、今度は他の多くのアマチュアミュージシャンの憧れとなる。まさに松井さんとカウントハードが全国のアマチュア・ビッグバンドを牽引してきた事実がここにある。なんと素晴らしいことであろうか。今からもう30年も前、カウントハードが奏でるMFサウンドを通じてファーガソンのファンとなった私にとって誇りに思える事実である。

サマージャズフェスティバルの原型ともいえるKSJF。この素晴らしいジャズフェスティバルがこれからも永遠に続きますように。

メイナード・ファーガソン 研究者

堤 豊



堤 豊・・・1965年倉敷市生まれ。高校卒業までを倉敷で過ごす。好物はふるいちのぶっかけ。文中にあるように、カウントハードの演奏を通じ、10歳にしてメイナード・ファーガソンのとりにこになる。以来、自称「MFマニア隊長」として全国のMFファンとの輪を広げる。メイナード・ファーガソンはもちろん、バンドメンバーや世界各地のファンとの交流も深い。また、世界屈指のメイナード・ファーガソン・レコードコレクターとしても知られている。



## ごあいさつ

皆様、こんばんは

本日ここに「第16回KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL」が開催できますことを誠に光栄に思っております。暑い中、当ジャズフェスティバルにご参加くださいました皆様、そして開催に当たり快くご協賛くださいましたスポンサーの皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今回は場所をチボリ公園に移し、これまでとはひと味違う場所での開催となりました。当フェスティバル第11回、第12回にご出演いただいている本間雅人氏率いるスペシャルカルテットに加え、米・パークレー高校ジャズアンサンブル、トランペット吉田憲司氏、ヴォーカル小笠原千秋氏にもお越しいただき、これまでも増して賑やかなフェスティバルとなりましたことは、誠に嬉しい限りです。本田氏を初めとするプロフェッショナルのクールで自在な演奏、高校生たちの若さ溢れるエネルギッシュな演奏と、どちらも聴き応え、見応えのある演奏をお楽しみいただけることと存じます。最後には、恒例となっております全出演者による共演も予定しております。倉敷の真夏の夜のひととき、心地よい音楽を存分にお楽しみください。

余談となりますが、昨年8月、私の最も敬愛するONE&ONLYトランペッター、メイナード・ファーガソン氏が急逝いたしました。昨夏、氏を<sup>みたび</sup>三度迎えフェスティバルを準備しておりましたが、このためやむなく中止させていただきました。本日はファーガソン氏への追悼の意を込めて演奏したいと存じます。

開催に当たり御協力くださいましたすべての皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

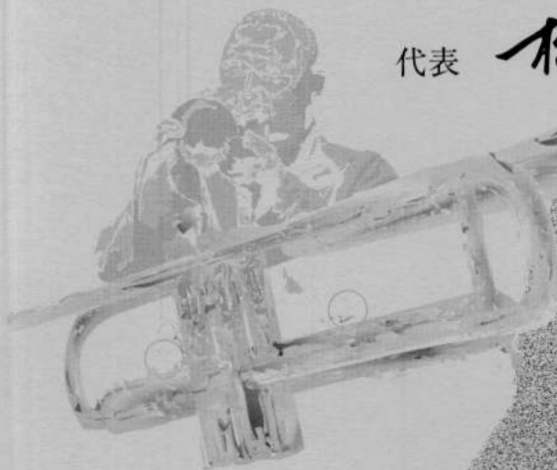
合掌

KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL 実行委員会

代表

松井 大圓

Daien Matsui





MASATO HONDA

高知県出身。サクソスは小3から。国立音大サクソフォン科に在学中、山野ビッグバンドジャズコンテストに初出場で初優勝、最優秀ソリスト賞も受賞。在学中から「原信夫とシャープス&フラッツ」のリードアルトやトップアーティストのツアーサポートをするかわらスタジオミュージシャンとして様々な作品に参加。'91年フュージョングループ「T-SQUARE」加入。フロントを飾ると共に作曲アレンジ面でも新風を巻き起こす。'98以降ソロとして活動。2ndアルバム「Carry Out」が音楽誌「ADLIB」日本フュージョンベストアルバムに選出。そして同誌人気投票国内サクソ部門ではV8の偉業を達成。人気、実力NO1サクソプレイヤーである。昨年(06年)は元T-SQUAREのメンバー、則竹、須藤、松本らと「MASATO HONDA with VOICE of ELEMENTS」を結成し、同年7月にアルバム発表。今年はジャズボーカリスト、マリンを全面プロデュースし、4/25にアルバム「Jazz'n Out」をリリース。総合音楽家として常に幅広い音楽性を表現している。

'07 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL

PROFILE

本田雅人  
スペシャルカルテット

則竹 裕之 (のりたけ ひろゆき)



1964.8.27生 大阪出身 乙女座 AB型 170cm 54kg

'85年「THE SQUARE」に加入しプロデビュー。米国「PLAYBOY JAZZ FESTIVAL」への出演、10回に及ぶ日本ゴールドディスク大賞(JAZZ部門)受賞など、その活動は国内外に広く評価された。'99年ソロアルバム「DREAMS CAN GO」を発表。同グループ退団後は、布袋寅泰、MisiaCASIOPEAなどのレコーディングやライブ・サポートをするかわら、パリにて佐渡裕指揮コンセル・ラムルー管弦楽団ガラコンサートにゲスト出演するなど、ジャンルを問わず多彩なドラミングに各方面から絶大な信頼が寄せられている。'05年11月、神保彰とのツインドラムユニット「Synchronized DNA」でモントリオール・ドラム・フェスティバルに出演。その後のカナダ横断ツアーでは各地で大絶賛を博し、前例のないドラムのみのユニットとして世界の注目を集めている。

OFFICIAL WEB SITE : <http://dreamscango.coolnc.jp>

HIROYUKI NORITAKE

松本 圭司 (まつもと けいじ)



(Piano, Keyboard, Arranger, Composer)  
Born in Sapporo City, Hokkaido, Japan  
on April 12, 1973

1993年頃から活動を始め、葉加瀬太郎グループなどを経て1999年にT-Squareに加入。退団後はライブハウス、ツアーサポート、スタジオワークを中心に活動。2003年ソロアルバム「Life」リリース。レーベル「bootrecord」設立。ライブアルバム「Live bootrecord」よりリリース。2ndソロアルバム「PROMISES」4/1リリース。

KEIJI MATSUMOTO

川内 啓史 (かわうち けいし)



1985年1月21日生まれ札幌出身  
13歳よりベースを弾きはじめる、15歳でヤマハPMSにて田中久雄氏に師事。19歳まで札幌を中心にライブハウスやバーにて演奏し2004年洗足音楽大学ジャズ科に入学。入学後 岡田治郎氏 納浩一氏 梶原順氏に師事。AORなどの歌ものやフュージョン ブルース ファンク ソウルなどを好んで演奏する。

KEISHI KAWAUCHI



バークレー高校ジャズ・アンサンブル



カリフォルニア州を代表するハイスクールバンドで、全米でもトップクラスの実力。モンタレー・ジャズ・フェスティバル（アメリカ）でも、リオ・アメリカノ・ハイスクールやモンタレー・ハイスクールと並ぶ強豪のひとつ。ディレクターは、チャールズ・ハミルトン先生。1997年にはスイスのモンタレー・ジャズ・フェスティバル、1999年には日本公演を実施、好評を博した。数多くのジャズ・アーティストを輩出している名門校でもあり、テナーサックスのジョシュア・レッドマンや、ピアニストのベニー・グリーンも同校のOBである。

THE BERKELEY HIGH SCHOOL  
JAZZ ENSEMBLE

KENJI  
YOSHIDA

吉田 憲司（よしだ けんじ）



1947年生まれ。国立音楽大学器楽科卒業後、「東京ユニオン・オーケストラ」でプロ入り、ジャズドラマーである猪俣猛の「サウンドLTD」や「ザ・サード・オーケストラ」に加わる。その後、渡米し、ニューヨークにて学ぶ。帰国後、フリーランサーとして、スタジオワークで活動する一方、日本で初めてのサルサグループであった「オルケスタ・デル・ソル」と、実験的ジャズの演奏集団「インナー・ギャラクシー・オーケストラ」結成に参加。85年、フランク・シナトラの極東ツアーにも加わるなど、海外の演奏家との演奏も多い。92年、長年在籍していたオルケスタ・デル・ソルを退団し、菊池ひみこと新グループ「BEAM」結成。アルバム「Taste of Brass」発表。このアルバム中の自作品を東映映画「新極道の妻達」に挿入曲として提供。94年、HAVATAMPAを再結成。メキシコでは、市立オペラ劇場での公演を成功させ、「現代日本でもっとも注目すべき音楽家」と評される。また、HAVATAMPAを率いて、国際セルバンテス芸術祭、メキシコ国際ジャズ・フェスティバルなどに参加する。リットーミュージックより「クリフォード・ブラウンの奇跡」「ジャズ・インボイセーション」ジャズライフより「スタンダードズ」を講師陣と共著。八木恵代との共著「キューバ音楽」を青上社より出版。現在、ヤマハ音楽院講師。栃木県宇都宮市で、中高校生ビックバンド（ジュニア・ジャズ・オーケストラ）を指導している。

東京都八王子市在住。

柳島 幸一（やなぎしま こういち）



1952年10月27日 新潟県佐渡生まれ。小学校5年に放送部、中学校でブラスバンドに入る。佐渡高校卒業後、絵描を目指すが、アマチュアバンド活動。1972年サウンドエンジニアに進路変更。1981年松本英彦のグループで3連ツアー（40日間）に参加。ジョージ川口NEW BIG4、中本マリ&スパンキーに参加。現在はTriple Piano（前田憲男、佐藤彦彦、羽田健太郎）、前田憲男&ウインドブレイカーズ、宮川 泰&名匠「宮川組」、歐陽菲菲、東京ジャズギルドオーケストラ、プレスト・イン・ミュージック（小笠原千秋、辻 邦博、統木 力）などで活動中。アコースティック楽器のMixを得意とし、Jazzを中心に活動している。

小笠原 千秋（おがさわら ちあき）



1963年北海道生まれ。津田塾大学在学中よりライブ活動を開始。日本コロムビア<DENON>から5枚のリーダーアルバムをリリース。2003年5月、ギタリスト・辻 邦博、ハーモニカプレイヤー・統木力とのアコースティック・ライブユニット「Blessed in Music」のファースト・アルバム「Blessed in Music / プレスト・イン・ミュージック」をLANDING ON MUSIC レーベルからリリース。ヴォーカリストとして、作詞家として、ジャズを土台にかつジャンルを越えて個性ある独自の音楽を追求。

主なリリースアルバム  
 「House of the Wind ~風の館~」1998年 日本コロムビア<DENON>  
 「Standards and My Songs ~スタンダードズ・アンド・マイソングス~」1999年 日本コロムビア<DENON>  
 「Blessed in Music / プレスト・イン・ミュージック」2003年 LANDING ON MUSIC LAND-1821 税込価格2,500円  
 小笠原千秋 (vocal)、辻 邦博 (gut. guitar)、統木力 (harmonica) というユニークな編成のユニット Blessed in Music がこの数年間ライブで培ってきた音楽を、スタジオ録音によりCD化した作品。

「GOTOKU-ごとく-」GOTOKU RECORDS GKT-0507 定価2,500円  
 販売元:ラッツパックスレコード(株)  
 ピアニスト&シンガー:西島 芳とのユニット「GOTOKU」のファーストアルバム。はじめての、全曲日本語によるオリジナル集。7月7日にリリースされたばかり。

CHI KI  
OGASAWARA

KOUICHI  
YANAGISHIMA

# '07 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL PROGRAM

1. Berkeley High School Jazz Ensemble

2. COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA

Kenji Yoshida

Chiaki Ogasawara

3. 本田雅人スペシャルカルテット

4. All Members Joint



# COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA



## カウントハード ジャズオーケストラ

1965年、リーダーである松井大圓と田野康裕(旧姓藤原)とによって結成。現在メイナーファーガソンの曲を中心に種々のレパトリーを演奏している。主な演奏記録:1987年ロサンリバージャズフェスティバル出演、カリフォルニアデイズニerlandにて演奏、1991年メイナード・ファーガソンオーケストラとジョイントライブ(第1回倉敷サマージャズフェスティバル)、1992年オーストラリア・ニュージーランド演奏旅行。2001年国民文化祭鳥取県大会岡山県代表演奏。今までに共演した主な演奏者はリッチーコール、メル・ブラウン、チャックフィンブレ、レベッカ・パリス、アルトゥール・サンバル、スーザン・マスカレラトリオ、ベレス・プランチャードクインテット、マリーナ・ショー、ボンチョ・サンチェス&ラテンバンド、カーリン・アリソン&トリオ、ボビー・シュー&サルサカリエンテ、高橋達也、北村英治、タイム・ファイブ、吉田憲司、大森明、続木力、小笠原千秋、金子晴美、山本きょうこ、本田雅人、サリナ・ジョーンズ。2007年国民文化祭徳島県大会岡山県代表演奏予定。小・中・高等学校を対象にした音楽鑑賞会など地域の文化振興に積極的に参加、県内外で精力的な演奏活動を行っている。

## BAND MASTER DAIEN MATSUI

### 松井大圓

BAND MASTER. TRUMPET

国立音楽大学卒業後、高野山大学卒業、音楽、トランペット、人、色々な出会い、それは人の世の不思議、大自然の不思議、それは仏縁...一切に感謝...



母なる瀬戸内の懐に抱かれ幾星霜の年月が育てた海の幸  
洗練よりも繊細を身上として、瀬戸内ならではの小魚の旨みを  
丹精こめて皆様にご賞味いただきます。  
倉敷に生まれ倉敷に育った瀬戸の活きを、存分にお楽しみ下さい。



郷土料理 浜吉

■営業時間  
(昼) 午前二時三〇分より午後二時  
(夜) 午後五時より午後一〇時  
■定休日 毎週月曜日  
(但し、年末・年始・休祭日は営業いたします。)  
倉敷市阿知二丁目(御国幼稚園向)  
電話 四二一三四三〇  
※駅より徒歩七分  
大原美術館より徒歩五分





# COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA MEMBERS



**原田茂明**  
SHIGEAKI HARADA  
**A.Sax**

最近長閑に引越し、バンドの練習に来るのも一苦労。その苦労からか、練習に楽器を忘れる事なんて日常茶飯事。



**三村悠美子**  
YUMIKO MIMURA  
**A.Sax**

カウントハードに入って早3年。気づけば活動している女の子は…私だけ?うん…少し寂しい。がんばります。



**西省二**  
SHOJI NISHI  
**A.Sax**

ある時は楽器屋。「楽器買おてえ」がログセ。しかし楽器をもつと、豹変。そんな西さん今日も多分大活躍。



**米倉 孝**  
TAKASHI YONEKURA  
**T.Sax**

バンドのワイン好き。山梨県出身。現在、山陽学園短期大学准教授。CHJOコンナートマスター



**島中洋行**  
HIROYUKI SHIMANAKA  
**T.Sax**

バンドの元イケメン代表。ところが最近ガーシラになったゲーハナ発見でショック大!子育て真最中。



**戸田恭子**  
KYOKO TODA  
**A.Sax**

育児&家事&仕事と充実すぎる程の毎日。プレーヤー復帰を夢見て頑張ってます!!



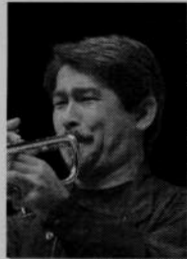
**遠藤 浩**  
HIROSHI ENDO  
**B.Sax**

標準体重なんてずう〜と前からかあ〜るく突破!血圧が高いので、腰が痛いのだと言いついたら年とった証拠だったらしい。



**大嶋成幸**  
SHIGEYUKI OSHIMA  
**Trumpet**

Galileo Jcoleo・Monette MF III 体が大きいとハイノートが出ると思察しているメタリックカー。ラッパの最高音は上がらないが最低音は上昇中。



**若松直也**  
NAOYA WAKAMATSU  
**Trumpet**

中学理科教師(63年)・Schilke S32 GP・Monette MF III 一人娘にも同じマウスピースを使わせ、理科は教えないのにTpは一緒に練習する。



**生田智和**  
TOMOKAZU IKUTA  
**Trumpet**

Bach 180ML SP・Monette MF III 僕もハーマン帝王を目指してがんばるぞ〜!現イケメン代表。



**林 正勝**  
MASAKATSU HAYASHI  
**Trumpet**

Bei Canto Model 59他・Monette MF LT 他 いっぱい並べてみましたが、サウンドは今のところ大して変わらないことがこの間わかりました..



**石口 俊**  
SHUN ISHIGUCHI  
**Trombone**

自称「若いカッコイイ奏者の三拍子が揃った。水もしたたるイイ男」と言い張るTbのリーダー。実働したたっているのは汗である。



**西岡 忠**  
TADASHI NISHIOKA  
**Trombone**

食欲旺盛。体は細いが態度はでかい。おやじギャグを連発し、メンバは凍りっぱなし。Tb奏者とは飯の姿、実は...



**小川弦太**  
GENTA OGAWA  
**Trombone**

最年少です。音程負けないように頑張りたいと思います。



**内田賢英**  
TAKAHIDE UCHIDA  
**Trombone**

トロンボーンセクション最年長!! みんな頼りにしてまっせえ〜。



**狐方幸子**  
YUKIKO KOMOKATA  
**Trombone**

現在神戸で働く美人看護師。そしてトロンボーンパート1の酒豪!!



**藤井正明**  
MASAKI FUJII  
**Drums**

カウント・ハードの名物男。冬も夏もタンクトップ&短パンは当たり前。この男に冬などないらしい。今年60歳。実は孫がいるらしい..



**笹木 收**  
OSAMU SASAKI  
**Piano**

絶対音感という希有な才能をもつ收先生。ホンマの姿は耳鼻咽喉のお医者様。あなたの耳鼻・喉見ましようか?



**朝倉宏樹**  
HIROKI ASAKURA  
**Bass**

毎週備前から愛車をぶつとばして練習に来ている熱血漢。ツメのあかを煎じて飲ませてもらおうかと思ったけど..やっぱやめとく..



**鴨井 績**  
ISAO KAMOI

泣く子も黙るカウントハードGMネ。舞台セッティングからなんもかかんもお世話になりっぱなし。しかし、その実態は「家リバカ日誌」の船長さん。

レコードとジャズライブの聴ける店  
(ライブはPM8:00~PM11:00)



JAZZ LIVE AVENUE  
AM12:00-PM 11:00  
倉敷・本町 ☎424-8043

COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA

COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA



**CAR'S  
OKAYAMA**  
CO.,LTD.

新車・中古車・車検・整備 自動車の事ならおまかせください!

**(株)カーズ岡山**

☎086-262-1500

ディーラー時代の経験をいかし、  
平成15年10月22日 **OPEN** から5年を迎えます!  
おかげさまで、たくさんの方々にご愛顧いただいております。

万全の設備を整える工場で、高度な技術を持つメカニックに、  
お車のメンテナンスや一般修理、車検、点検をおまかせください。  
整備作業のスピードと正確さもバツグンです!  
取り扱い車種は、輸入車(BMW他)、国産車のすべてになります。

いつでもお気軽にお立ち寄りください。



《取り扱い車種》

**BMW**

を中心に全車種対応。

販売 車検・点検 修理



営業時間/9:00~19:00  
定休日/日・祝・第1、第3土曜日

株式会社カーズ岡山

〒702-8022 岡山市福成2-24-11 TEL.086-262-1500 FAX.086-262-8090



'07 KURASHIKI SUMMER JAZZ FESTIVAL

—— 実行委員会 ——

DAIEN MATSUI  
KAZUO TAKAYOSHI  
ISAO KAMOI  
MAKIKO IMAI  
KEITA TOMIOKA  
COUNT HERD JAZZ ORCHESTRA

—— STAFF ——

STAGE OKAYAMA  
WORLD PROJECT  
KAMIKOUBOU  
YOUSUKE KUROSAKA  
CHINATSU SHIRAI

•  
•  
•  
•  
•

*「Thanks to our staff!!!」*

Jazz Orchestras

Count Herd